

## 北陸植物学会 2019 年度総会 議事録

日時：2019 年 6 月 30 日、11:40～12:30

場所：金沢大学 自然科学本館 101 講義室

出席者数：15 名

### 議長選出

推薦により、岩崎俊介会員（新潟大）を選出した。

### 1. 2018 年度庶務報告、会計報告

蒲池庶務幹事から、会報第 9 号に掲載された資料に基づいて説明があり、これを承認した。

唐原会計幹事から、会報第 9 号に掲載された会計報告書に基づいて説明があり、これを承認した。

### 2. 日本植物学会関連団体意見交換会について（報告）

2018 年 9 月 14 日に広島国際会議場で行われた日本植物学会関連団体意見交換会についての報告があった。日本植物学会からは、三村徹郎会長、高野博嘉理事、松永幸大専務理事が出席し、北海道植物学会、東北植物学会、北陸植物学会、近畿植物学会、中国・四国植物学会、九州沖縄植物学会の各関連団体からは、会長や幹事らが出席していたとの報告があり、この意見交換会の趣旨説明に加え、各関連団体の運営・活動状況および協議事項についての報告がなされた。

我々の北陸植物学会を含むいくつかの団体では予算が逼迫しており、関連団体のホームページを植物学会のホームページ中に設置する等、関連団体に対する運営面での援助が要請されたが、日本植物学会が公益社団法人として法人化された現在では、それも難しいとの回答であった。また、植物学会からは地区活動調査費（会員当たり 100 円）という費目で関連団体に予算が支出されているが、将来的にはこのような費用も支出できるか不透明との説明であった。

### 3. 2020 年度大会の予定について

2020 年度大会は、予定どおり福井で開催することが了承され、吉川連絡幹事から 2020 年度大会は福井市内で開催する予定であるとのアナウンスがあった。なお、平成元年の総会において、大会開催地はおよそ次の順で回ることが決められている。

R 元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
石川	福井	石川	富山	新潟	富山

### 4. 次期会長選挙

投票の結果、西川周一会員（新潟大）が次期会長に当選した。西川会員はこれを承諾し、他

の役員については、追って検討したい旨の説明があった。

## 5. 今後の学会運営について

予算が逼迫してきていること、および役員の業務負担軽減の観点から、次の4点について現役員から提案され、その一部については、審議後、規約改正を行なった。

### 1) 会費について

現時点では、附則により会費を徴収していないが、あと3年程度で予算が底をつく。役員旅費の支給を止めれば、あと6年程度は、現状での学会運営は可能となる。そこで審議の結果、規約の第10項「会長、庶務、会計幹事の本会活動にかかる旅費の実費を支給する。」を「会長、庶務、会計幹事の本会活動にかかる旅費の実費を支給することができる。」に表現を改め、予算状況に応じた旅費の執行を可能にした。なおこの改正案は、総会出席者の全員賛成により承認された。

また、今後の予算減少に伴う措置としては、大会参加費を徴収し、その収入で本会を運営する案が出された。この場合、規約を改正する必要はないこと、参加費は各大会の折に決めればよいこと、が確認された。

### 2) 会長の選出方法について

現在は、規約の第5項に従い、会員の投票により選出しているが、業務負担の軽減、費用削減、および選出の実質化の観点から、投票による選出を止める案が出された。例えば、役員および北陸地区選出の代議員の協議により次期会長の推薦者を決め、総会で決定するなどとしてはどうか。この案については継続審議となっており、次回の選挙で変更するならば、来年度の総会で規約を改正する必要がある。

### 3) 会報の配布方法について

郵送費、業務負担軽減の観点から、メールアドレスを持っている会員については、会報はメールで発送してはどうか、との提案があった。

### 4) 大会について

過去の大会では、7から9題の研究発表があったが、近年では、申込数が減少してきており、寂しい状況である。参加者数も今年度は、34人と少なめであった。そこで、招待講演を行なってはどうか、との提案があった。

## 6. その他

西川会員より、日本植物学会北陸地区の代議員選出に関するアナウンスがあった。現在の代議員（岩坪会長、西川会員）は、3期6年目と長期に渡っていることから、次の代議員選挙では再任を避けてほしいとの要請があったとのこと。そこで、次期代議員については、役員で相談の上、推薦者を決め、次の代議員選挙で投票していただくよう、北陸地区の学会員に要請することが了承された。